

生活世界の映像記述とは何か——アルバート湖岸漁村の描出を通して——

30th May 2010 名古屋市立大学
田原範子 (四天王寺大学)



生活世界へのアプローチ

【生活世界】

- *他者と共存し、喜怒哀楽を享受する空間
- *多様な実践によって「生活の知」が育まれる場
- *偶発的、即興的、流動的なさまざまな実践が日々生起する場

【フィールドワーク】

- *具体的な諸個人が住む空間において、行為者・歴史・構造のなかで生成される通常の生活にアプローチすること
- *様々な社会に通底する社会的生活の原型を発見するもの

【記述から映像へ】

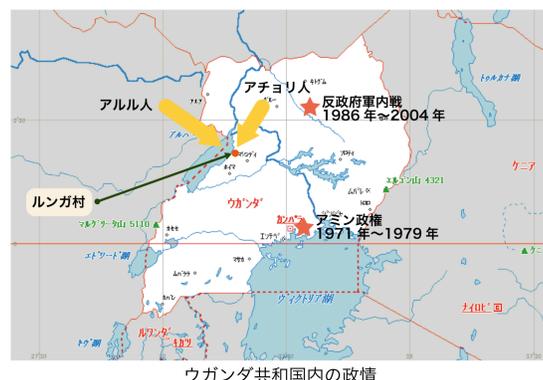
- *移動に住まう人びとは、いかなる共同性を構築するのか。
- *生業も言葉も異なる人びとが会場で、いかなる共同体が作られるのか。
- *調査者は、その研究を調査地の人びとといかに共有することができるのか。

【映像制作】

- 「ウガンダ・アルバート湖岸の生活」2009年9月
- 「水辺に暮らす人びと—ウガンダ・アルバート湖編」2010年3月

【映像上映】

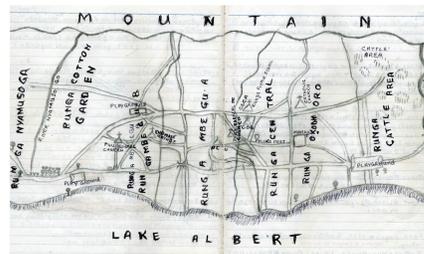
- *創造されるものは何か。
- *循環されるものとしてのフィールドワーク



漁村の生活世界



ルンガをアルバート湖からみる (2009/8/22)
背景にはアフリカ大陸西側大地帯の100mを越える急な断崖が見える



	2001	2003	2008
household	---	497	781
Male population	over 200	1390	1037
Female population	over 400	1741	923
Children population	600 (under 18 years)	370 (under 5 years)	1469 (under 18 years)
total	1600-1700	3701	3420

ルンガの人口等の推移 (LC1の調査による)



ルンガマーケット(Runga2001/3/11) ルンガマーケット(Runga2010/2/7)



海軍と漁業省による漁網の焼却(2002/8/5) 地域行政会議(2002/8/14)



マーケットのナイルパーチ (Runga2006/8/2) 工場へ送られるナイルパーチ (Nkondo2008/2/6)

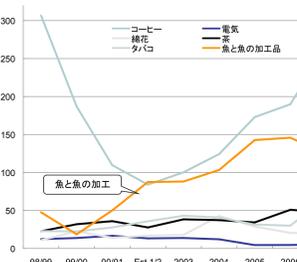


キオスクには、パン、油、ランプ用のケロシン、鮫、文房具、お茶の葉など何でも (Runga2009/2/2) ルンガのサッカーチーム主将(Runga2009/5/19) 普段はムズリ漁の漁師として働き、日曜日は近隣地域の村と対抗試合をする。(Runga2009/5/14)

生活世界の諸文脈

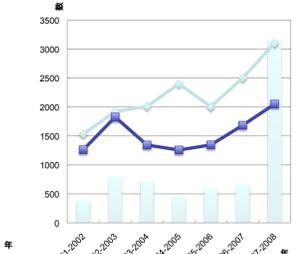
マクロレベルの経済的文脈

ウガンダの輸出産品と総額(USD\$'000)



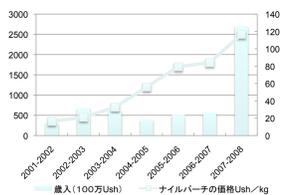
1998-2002年はBackground to the Budget Financial Year 2002/2003.2003-2007はウガンダ統計局の資料より作成 <http://www.ugandaexportsonline.com/statistics.htm> (2010/9/25参照)

ホイマの歳入



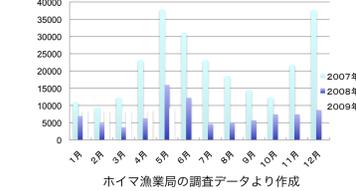
ホイマ漁業局の調査データより作成

ナイルパーチの価格と歳入



ホイマ漁業局の調査データより作成

ホイマ県の総漁獲量



ホイマ漁業局の調査データより作成



パニムールで荷下ろしされて計測されて売買される乾燥魚 コンゴ民主共和国、スーダンへ送られる(Panyimur2008/8/8-11)

メゾレベルの政治的文脈

BMU (岸管理単位) 導入 (アルバート湖は2006年以降)



ホイマ漁業局Runga BMU会議 (Runga2008/8/8) 魚種と漁獲量の調査結果を示すキホロBMU議長オチリチャンとルンガ元漁労長パティスタ (Kyehoro2008/8/4)

意思決定をコミュニティの参画の下で民主的に行う組織BMUを作ること、漁業に関する機能、権力、事業すべてを脱中央集権化し、水産資源枯渇を食い止める。

生活世界の描出

映像の多声的な実践

【記録】
2009年4月~8月
梅屋潔・田原範子

【編集】
2009年9月~
2010年3月
石田佐恵子・岩谷洋史・田原範子

【音声の記述】
2010年2月
オウンギ・ラファエル・田原範子



共有／開放

- 【上映】
- * ひらめきときめきサイエンス (2009/10/4) 四天王寺大学
- * Lives in Lake Albert (2010/2/5~6) Runga village
- * 水界に培われた生活知に関する国際交流ワークショップ (2010/3/22) 気仙沼市
- * Workshop: Peoples' Trajectories and Spaces in Uganda (2010/3/25) Kyoto University



共感的理解／再創造へ

【国内研究協力者】

- 石田佐恵子 大阪市立大学
- 岩谷洋史 国立民族学博物館
- 梅屋潔 神戸大学